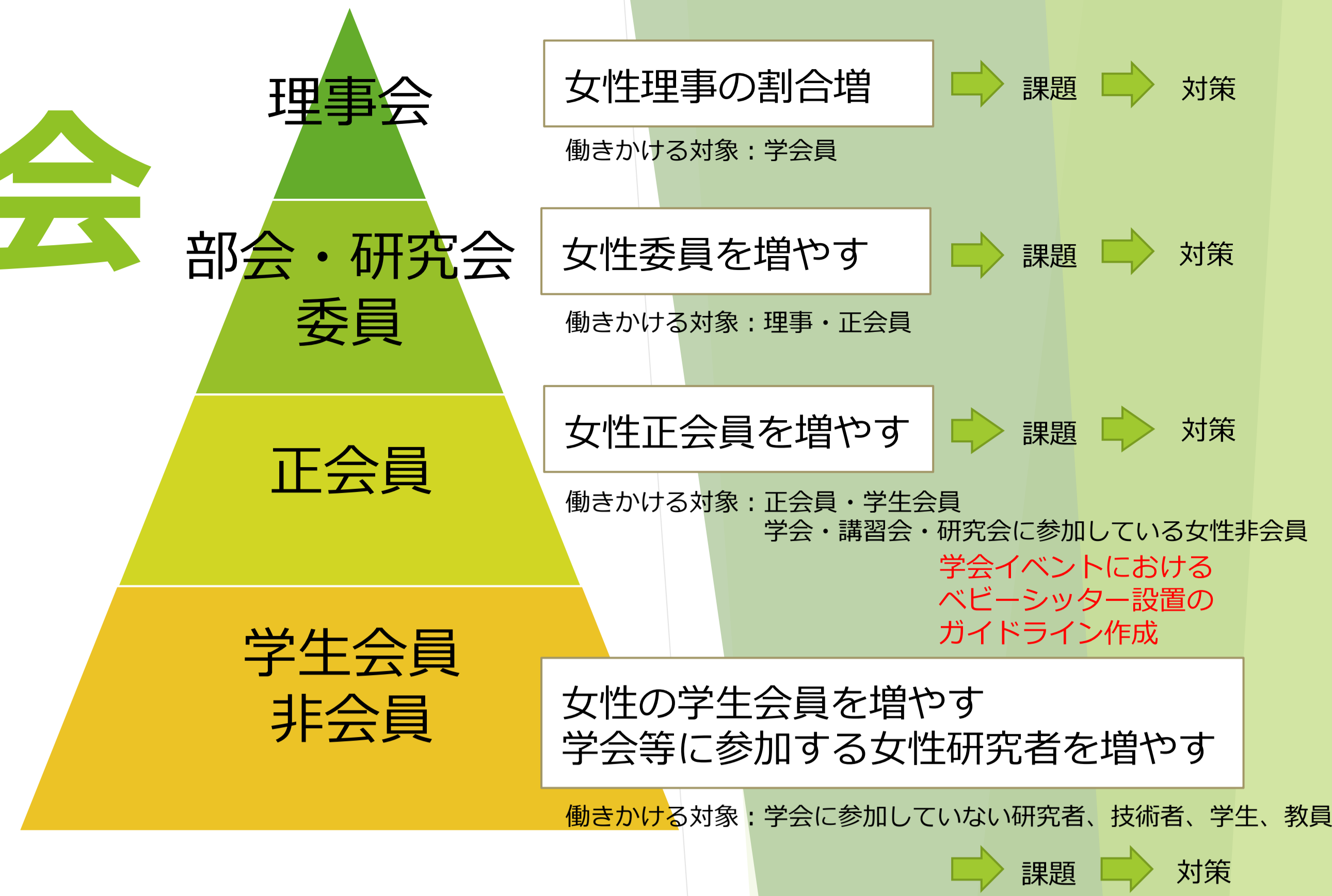


日本質量分析学会 男女共同参画推進委員会

活動ポリシー

質量分析学者・質量分析技術者等、質量分析に関わる人達が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、参加しやすい、その個性と能力を十分に発揮できる日本質量分析学会を実現させるための諸活動を行います。



活動目標

男女共同参画の実現が21世紀の日本社会の最重要課題と位置づけられ、平成11年6月に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行され、平成12年12月には「男女共同参画基本計画」が閣議決定されました。また、日本学術会議においても、2000年6月8日第132会議において「女性科学者の環境改善の具体的措置について」(要望) および「日本学術会議における男女共同参画の推進について」(声明) が採択されました。これに伴い、本学会においては、男女共同参画推進委員会を2013年に設置し、右記の3項目を目標にし、男女共同参画推進を行っております。

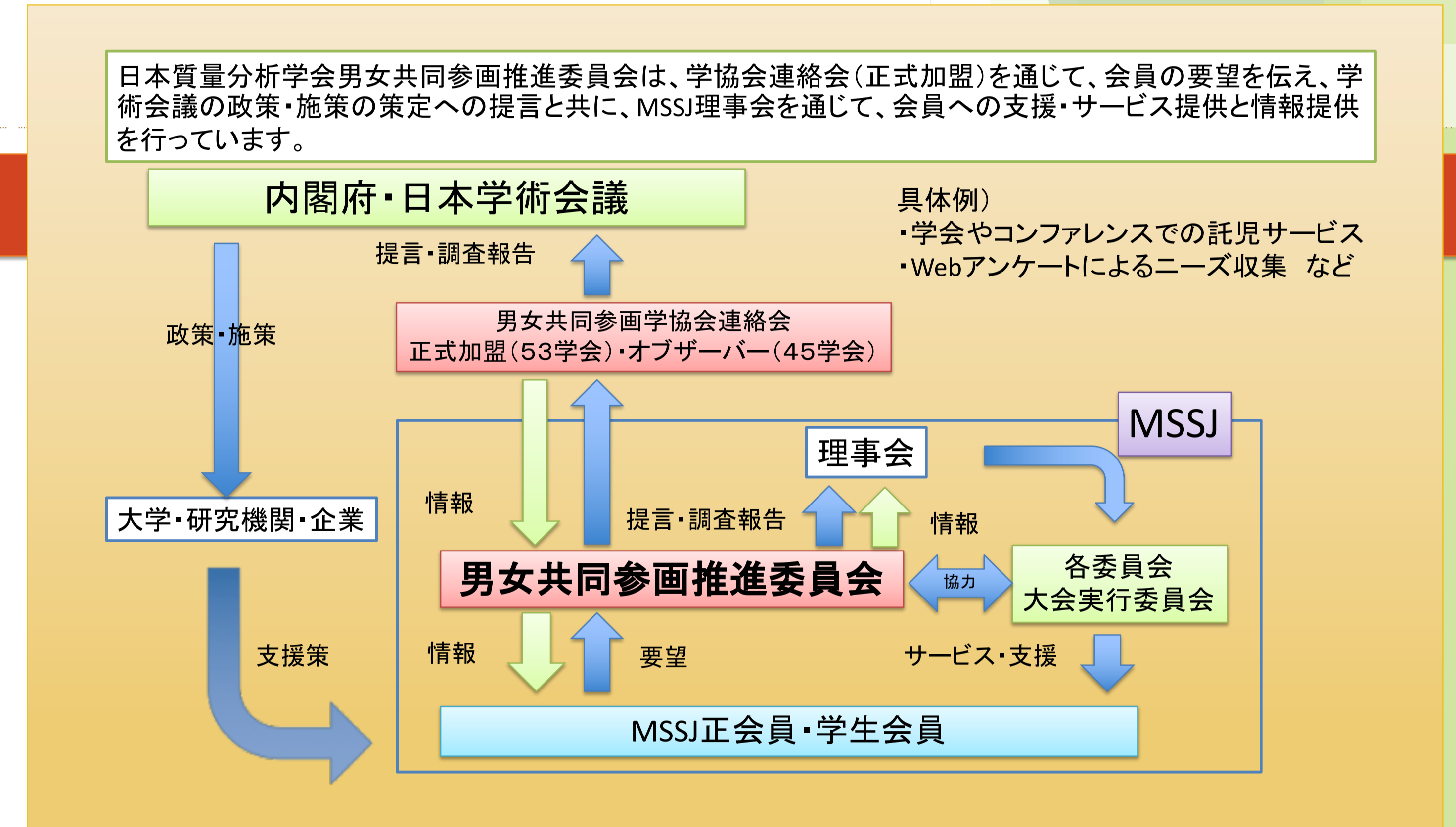
- 多様な人材の活用(ダイバーシティ)は、科学・技術の発展、競争力向上のために必要である。その一環として、子育て世代の学会参加の支援や女性研究者の活躍の場を広げる。
- 社会の持続的発展を目指して、ワークライフ・バランスを推進する。
- 男女の一人ひとりの意識改革を進める。

2017年度実績 および 2018年度実施計画

学会内コミュニケーション活動

【2017年度】

- 男女共同参画推進委員会活動ポリシー作成
- 第65回 日本質量分析総合討論会企画 (2017年5月19日@つくば)
男女共同参画推進委員会ランチタイムセミナー
～語り合おう、共稼ぎ・子育てライフ～開催
『共稼ぎ研究者の日米子育てライフ』大江 知行 先生 (東北大)
『共稼ぎ研究者の子育てと、共稼ぎの女性研究者を多く抱えたグループリーダーの経験談』
中山 登 先生 (バイオシス・テクノロジーズ & 聖マリアンナ医科大)
- BMSコンファレンス企画: 委員活動についてポスター発表 (2017年7月10-12日)
- 男女共同参画推進に関する**Webアンケート調査開始**
- 関東談話会共催企画: 学生・若手向け企画**ラボツアー実施** (2018年1月11日)



質量分析総合討論会等の学会活動における託児設置に関するガイドライン制定 (2017年度) と実施のフォロー (2018年度)

ガイドラインの理事会承認と学術集会での託児サービス実施支援

対外コミュニケーション活動 (男女共同参画学協会連絡会正式加盟)

- 男女共同参画学協会連絡会主催男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加
- 学術集会における参加者・発表者等の属性調査アンケート回答
- 学会属性調査アンケート回答
- 女子中高生理系進路選択支援のためのWEBサイト用研究者キャリア関連データ収集に協力
- 運営委員会出席

【2018年度】

- 第66回 日本質量分析総合討論会企画ワークショップ
男女共同参画推進委員会イブニングセミナー
MSカフェ“いろいろな働きかたについて考えよう” 開催
参加者: 合計62名 (男性38名、女性24名) **男女・産学共同参画**
演者: 質量分析メーカー・ユーザー企業: 4名、アカデミア: 4名
- BMSコンファレンス企画: 委員活動についてポスター発表 (2018年7月)
- 男女共同参画推進に関する**Webアンケート調査継続と解析**
- 関東談話会共催企画: 学生・若手向け企画**ラボツアー**



2017年 日本質量分析学会・総合討論会参加者の女性比率調査結果
日本質量分析学会(MSSJ)会員の女性比率は、国内の分析化学系学会よりは高いが、ここ数年横ばいである。MSSJの総合討論会に参加している非学生会員や学生会員の女性比率は、MSSJ学生会員よりも高い。

